

2020年 市長が選んだ伊勢市の出来事（10大ニュース）

（出来事順）

月	出来事	内 容
	新型コロナウイルス感染症	市民の皆さんの平穏な暮らし、経済に大きな影響を及ぼすとともに、人々の意識や価値観、行動などに大きな変化をもたらした年であった
1 ・ 5	オリジナル原付ナンバー・伊勢志摩ナンバーの交付開始	◇原付ナンバー（1/6から交付） 伊勢の魅力を生市内外に発信するとともに、まちへの愛着を深めてもらう ◇伊勢志摩ナンバー（5/11から交付） 当地の地域ブランドの継続的な発信により、地域振興や観光振興のため交付
4 ～ 12	バスの利用環境の改善	◇おかげバス環状線の本格運行（4/1） ◇おかげバス、おかげバスデマンドの再編（8/1） ◇沼木バスの再編（10/1） ◇位置情報確認システム「バスビジョン」が伊勢エリアへサービスを拡大（三重交通 11/18） ◇連節バスの運行（三重交通 12/19）
7	LINEのAIチャットボットを使ったごみ分別収集方法の案内サービス開始	三重県内で初！ 「ごみの分別」「粗大ごみの出し方」などの質問にAIチャットボットが回答
8	就職氷河期世代を対象として事務職員を募集	雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った「就職氷河期世代」を対象として事務職員を募集
8	伊勢市指定文化財に「旧市川造船所資料（船舶設計図面）」と「朝熊町の河崎音頭」を新たに指定	◇旧市川造船所資料 日本近代造船史を解明するうえで貴重な資料として、船舶設計図面を指定 また、公益社団法人日本船舶海洋工学会が「第4回ふね遺産」に認定（7/14 県内初） ◇朝熊町の河崎音頭 江戸時代から戦前戦後を通して同町の盆行事である河崎踊りの音頭として保存されてきた民俗芸能
9	洪水等の対策	◇浸水状況共有システムの実証実験（国土交通省） 市内の道路33カ所に簡易センサを設置し浸水情報による避難行動支援等の効果を検証（9月開始） ◇勢田川堤防のかさ上げ（国土交通省） 「勢田川流域等浸水対策実行計画」に対策を追加 狭窄部（JR参宮線）上流区間を整備
10	伊勢ブランド33品を認定	伊勢市産業振興会が今年から始めた認定制度。伊勢独自の特性を持った商品を地域ブランドとして認定し、情報発信することで、伊勢のイメージ向上や地域経済の活性化を図る
10	「いすずウキウキクラブ」が生涯スポーツ優良団体として文部科学大臣賞を受賞	当市で最初に設立された総合型地域スポーツクラブ。多様目、多世代、多志向の教室を年間を通じて数多く開催し、地域住民の健全な心身の保持増進とコミュニティづくりに寄与したとして受賞
11	皇學館大学の駅伝競走部が第52回全日本大学駅伝対校選手権大会に出場	4年連続4回目の出場 結果は、17位（5時間27分25秒） 東海地区の選考会を大会新記録で制す エース川瀬翔矢選手（4年）は、大会史上初となる17人抜きを達成（2区・区間賞）